

第805回 教育委員会会議録

日時

平成30年 7月19日(木) 午後1時30分

場所

御殿場市役所 5階大会議室

出席者

1番 教育長	勝又 将雄	2番 委員	勝又 英和
3番 委員	佐藤 朋裕	4番 委員	芹澤 えつ子
5番 委員	大西 孝明	6番 委員	勝又 綾子

陪席者

教育部長	教育総務課長
学校教育課長	社会教育課長
図書館長	学校給食課長
学校教育課課長補佐	社会教育課課長補佐
学校給食課副参事	
西学校給食センター所長兼高根学校給食センター所長	

事務局

教育総務課副参事	教育総務課主任
----------	---------

傍聴者

1名

議事

御教議第25号	平成30年度御殿場市教育委員会自己点検・評価について
御教議第26号	平成31年度使用の小学校教科用図書及び平成31年～32年度使用の中学校教科用図書の採択について
御教議第27号	平成30年度就学援助について

開会

教育長

西日本の豪雨からはじまりまして、この一週間ほどかなり猛暑が厳しい状況であります。学校関係は、計画に則って粛々と進んでおりまして、中学校では中体連地区大会が終わりまして、次は県大会を迎えます。小中学校は来週の前半で夏休みに入るといった状況です。

本日は委員全員の出席をいただいておりますので、委員会は成立いたします。ただ今から御殿場市教育委員会7月定例会を開会いたします。

本日の委員会は、お手元に配布しております日程により進行いたします。ご了承願います。

それでは会議録署名人の指名を行います。教育長の指名により決定することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

ご異議がないようですので、こちらから指名いたします。4番芹澤えつ子委員と5番大西孝明委員をお願いいたします。

次に会期であります、本日1日間といたします。

なお定例会終了後、委員会協議会を開催いたします。よろしくお願いいたします。

教育長報告

教育長

ブロック塀や旅行業の国際観光の関係もありましたので、教育長報告にも書き残しておきました。

6月22日 人事学校訪問 午前：高根小学校 午後：高根中学校

6月25日 部長等連絡会
定例記者会見
サンフラワーの会 教育基金贈呈

教育長

定例記者会見がございまして、富士岡小学校のブロック塀の撤去についての報告をしまいりました。その後、サンフラワーの会で教育基金の贈呈ということで、毎年チャリティー事業を行って、その収益金を博物館の建設資金へということで市へ寄附をいただいております。

6月26日 人事学校訪問 午前：印野小学校 午後：西中学校

6月27日 人事学校訪問 午前：御殿場南小学校 午後：南中学校

6月28日 人事学校訪問 午前：原里小学校

6月29日 幼稚園公開保育
市町教育長協議会・市町教育長会

教育長

幼稚園の公開保育へ行ってまいりました。特に気にしていたのは3歳児の実態でした。幼稚園に入って集団生活に適應する様子を見させてもらいました。かなり厳しい状況がありまして、母体が12人くらいの学級編成になっているのですが、特別支援を必要とするであろうというお子さんが数名おりましたので、かなりハードな状況を実際に見させていただきました。同様に、就園支援委員会にあげられている状況につきましてもかなり意識していますけれども、年々増えてきている状況で大きな課題のひとつです。

市町の教育長協議会、教育長会がありました。ここでは分科会で教員の多忙化解消について発言をする機会がありましたが、具体的な取り組みの方向を各市町で行っておりますが、本市の場合には留守番電話等で導入が遅れていて、他市町に比べてそこが課題なのかなと思います。

- 6月30日 中体連地区大会
- 7月 2日 部長等連絡会
オリンピック・パラリンピック推進本部会議
校長会
教育のあゆみ編集委員会
部内打ち合わせ
故鈴木賢治先生の叙位伝達（従五位）

教育長

校長会がありました。各学校の登下校時の緊急対応について再検討を促しました。地震を含めて、子ども達が登校下校の最中に災害が起きた時の対処の仕方を、どういうルールをもってやっているのかということ、各学校まちまちですので、駆け込み110番の存在も含めてもう一度見直しをするという事で詰めましたので、後ほど協議会で報告をいただきたいと思います。

- 7月 3日 国際観光株式会社の事業停止（倒産）に関わる市内小中学校の被害状況把握

教育長

国際観光の事業停止についてニュースになりました。学校については、特に修学旅行の関係がありましたので、修学旅行と社会科見学の契約の状況と入金をしてあるのか、ないのか、現状把握を行いました。本市では4校が契約をしておりましたが、お金の関係については被害が無かったということでしたので、その報告となります。オーストラリアのホームステイ体験に個人参加を申込みしていた方が市内で2人あるのですが、県の教育事業団体連絡協議会主催ということで、全額返金の対応をするということで確認がとれております。

- 7月 4日 試験委員会
教科用図書採択連絡協議会

- 7月 5日 就園支援委員会
学校専門相談医運営懇話会・合同会議

教育長

学校専門相談医運営懇話会・合同会議が開催されました。全国版の学校保健に、4ページにわたって学校専門相談医制度の取り組みが掲載されています。執筆者の岩田先生は、教育委員会と学校と医師会の3者が連携をとって取り組むという事で、全国でも先駆的な取り組みとして紹介いただいております。全国版の4ページですので、かなりのインパクト

トがあるのかなと思います。

7月 7日 中体連地区大会 野球・ソフトボール・バスケットボール

7月 9日 部長等連絡会
小中学校教頭会

教育長

小中学校の教頭会がありました。校長会同様に、登下校中の子どもの安否確認と災害時の動きについてどうするかという事を伝えました。

7月10日 ホストタウン推進協議会
部内打ち合わせ

7月11日 夏の交通安全県民運動
園長会

教育長

夏の交通安全県民運動ということで、啓発活動を行いました。
園長会で保育の現状という事で、先ほど伝えました公開保育の状況を伝えながら、各園がどんな状況にあるかという事を話題提供しました。

7月13日 幼稚園教頭・主任会

教育長

幼稚園の教頭・主任会がありました。ここでも保育現場の現状と幼稚園教育の展望という事で、少し話をさせてもらう時間をいただきました。

7月14日 中体連地区大会 野球・バスケットボール・バレーボール

7月17日 部長等連絡会
部内打ち合わせ

7月19日 定例教育委員会
教頭・主幹・教務主任合同研修会

教育長

本日は、教頭・主幹・教務主任合同研修会が行われておりますが、道徳の研修を主にやっているのですが、創立記念事業と卒業記念事業の歴史を確認整理することを伝えてあります。創立記念の記念品がどういう経緯でここに残っているか、だんだんと薄れてしまっ

て、校舎を改築する時になって、謂れを確認する時に対応できなくなってしまったという事がありました。特に創立記念と卒業記念については歴史を確認するということで伝えました。

最後のスペースは、皆さんご承知のとおり、目黒区で虐待を受けて死亡した女児の言葉をそのまま載せております。

以上、教育長の報告となります。

議事

教育長

それでは、はじめに当局から一言お願いします。

教育部長

こんにちは。

はじめに、昨年の7月の市役所庁舎議会棟の解体工事から始まり、長きにわたって市民の皆様にご不便をおかけしていました本庁舎玄関周り及び外来者駐車場等の改修工事が、ほぼ完成いたしました。8月1日に工事完成式典が行われることになりましたので、そのことをまずはご報告いたします。

さて、教育長報告にもありましたが、梅雨明けと同時に連日猛暑が続いていて体調管理も難しいのですが、このあと今月26日には教育フォーラム、来月10日には総合教育会議と大きなイベントが続きます。体調管理にお気を付けいただきまして、なにかと忙しい時期ですけれども、よろしく申し上げます。

本日は議案が3件となっております。ご審議のほどよろしく願いいたします。

教育長

それでは、議事に入ります。

御教議第25号

平成30年度御殿場市教育委員会自己点検・評価について

教育長

御教議第25号「平成30年度御殿場市教育委員会自己点検・評価について」を議題といたします。

教育総務課長

それでは、ただいま議題となりました、平成30年度御殿場市教育委員会自己点検・評価につきまして、別冊の資料に基づき内容の説明させていただきます。

御殿場市教育委員会自己点検・評価報告書（案）の1ページをご覧ください。

本報告書（案）は、6月の定例教育委員会協議会で、皆さまにご協議いただき修正したものを、7月11日に御殿場市教育委員会管理及び執行状況に関する懇話会を開催し、懇話会委員の方々に意見をいただいた上で作成したものとなっております。

2ページから35ページまでは「点検評価の方法」及び「御殿場市教育委員会の自己点検・評価シート」ということで、内容につきましては、6月の定例教育委員会協議会で説明させていただいておりますので省略させていただきます。

それでは資料36ページをお願いします。ここから40ページまでが懇話会のなかで委員の方々からいただいた意見等をまとめたものとなっております。

はじめに「教育委員会の活動」についてですが、教育委員会の開催について広報しているが、会議についてPTAなどにも情報提供をしていただくといいのではないかと、また家庭教育学級での傍聴を計画して、教育委員会を身近に感じ、関わってもらえるようにしてもよいのではないかと等の意見をいただきました。また、市長との教育総合会議や教職員との意見交換などについてご意見等をいただきました。

次に「教育委員会が管理・執行する事務」では、小学校間の児童数のアンバランスについての考えや、小学校の教科書が厚くなってきてランドセルが重くなっていることから、教科書を学校に置くということへの考えはどうか、とのご質問をいただきました。

また、就学援助の認定につきましては、毎月の認定を評価いただきましたが、就学援助費が足りているかのアンケートなどの意見聴取や、入学準備金や課外授業への援助の対応についてご質問をいただきました。

次に、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、「人を育む環境の充実」を中心に、ご意見やご質問をいただきました。内容といたしましては、いじめの認知の状況やその解消について、学校事務加配の状況とその効果、小学校での英語教育が始まったことに関し、多くの子どもたちに英語検定を受けてもらうための受検料の補助についての考え、給食におけるアレルギーを持つ児童・生徒への対応について、2020年東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技への応援や観戦について、教育会館について、放課後子ども教室の指導員について等、ご意見やご質問をいただきました。

39ページからは、その他教育全般として、大阪での地震によるブロック塀倒壊事故を受け、本市での対応や通学路の危険個所の確認のお願い、中学校の部活動のガイドラインなどについてご質問がありました。

41ページをご覧ください。こちらは委員の皆様からのご意見をいただいた上で「点検評価の総括」としてまとめたものでございます。

以上が御殿場市教育委員会自己点検・評価報告書（案）の内容となります。なお、本報告書は、来月の市議会福祉文教員会で報告させていただいた後、市ホームページで市民に公表する予定となっています。

以上、自己点検・評価報告についての説明とさせていただきます。よろしく申し上げます。

教育長

ただいま、御教議第25号について内容説明がなされましたが、本案について質疑を求めます。

芹澤えつ子委員

ALTの先生のを増員を予定しているということですが、何名ぐらいの増員を予定しているか、またALTは全国的に不足していると思うのですが、全国で必要になった場合、足りるのかどうか、ということを知りたいです。

学校教育課長

現在ALTにつきましては小学校英語、小学校の英語教科化、低学年への導入ということで9名雇用しています。しかし、必要性があることから、3名増の12名体制を考えております。予算化して早期の実現を目指しております。現在の雇用につきましては、プロポーザル方式により適正な業者を選定しております。

教育長

ALTが入って行っている授業をご覧になったことはありますでしょうか。教育委員の皆さまもご覧になったことが無いようでしたら、機会を設けようかなと思います。ALTが主となって、担任と行っている授業について、特に小学校を見ていただければと思います。

勝又綾子委員

図書館機能の充実というところですが、この中で図書館整備構想もあるという事ですが、現在の図書館に通っている方の声なんですけど、図書館に通って本を借りるのをすごく楽しみにしているという方でしたが、怪我をされて現在の図書館の階段・スロープではとても行くことができない。市民皆さんが使いやすい、行きやすい、バリアフリーな施設を考えていただきたいと思います。

社会教育課長

図書館の整備構想につきましては庁内検討委員会で検討中でございます。現在の駐車場につきましてもご迷惑をおかけしておりますが、身体障害者用の駐車スペースの使い方も含めて、検討してまいります。バリアフリーも含めて、市民によりよい場所となるよう検討をすすめていきます。

教育長

結果を見ても、評価が低かった項目があったりして、それに対する取り組みも重ねてきているのですが、評価・達成度が記載されておりますので、それが妥当であるかどうか、委員の皆さまにも意識していただければと思います。

教育長

それでは他に質疑も無いようですので、本案を原案通り承認することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

ご異議がないようですので、御教議第25号「平成30年度御殿場市教育委員会自己点検・評価について」を原案どおり承認することに決しました。

御教議第26号

平成31年度使用の小学校教科用図書及び平成31年～32年度使用の中学校教科用図書の採択について

教育長

続いて、御教議第26号「平成31年度使用の小学校教科用図書及び平成31年～32年度使用の中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

学校教育課長

御教議第26号「平成31年度使用の小学校教科用図書及び平成31～32年度使用の中学校教科用図書の採択について」をご説明申し上げます。

議案書3ページをご覧ください。まず、平成31年度使用の小学校教科用図書の採択についてですが、昨年9月及び本年6月の定例教育委員会協議会において、平成31年度に使用する小学校教科用図書については、現在使われているものを引き続き使用することに対して御理解をいただいております。26号資料の2枚目をご覧ください。現在使われている教科書一覧です。

次に、平成31～32年度使用の中学校教科用図書の採択についてです。資料の1ページをご覧ください。あらためて教科用図書採択機構について、これまでの経緯も含めて説明致します。

まずはじめに、資料をご覧くださいながら項番を説明します。県教育委員会は、採択の対象となる教科書について、調査・研究し、採択権者である市町教育委員会に助言をするため、「教科用図書選定審議会」を設置します。その審議会の中で、校長や教員等で構成される「教科用図書専門調査委員会」へ調査依頼をし、結果報告をさせます。これが①になります。この専門調査委員会での調査・研究をもとに「教科用図書選定審議会」が県教育委員会へ答申します。これが②です。県教育委員会は選定資料として基本方針等研究報告書を市町教育委員会に送付することにより助言を行います。これが③です。

続いて、④⑤⑥⑦の関係について説明いたします。教科書の採択権者は、市町教育委員会です。静岡県の場合、全ての市町が共同採択をとっているため、各地区の教科用図書採択連絡協議会が調査研究を実施いたします。そのための資料として、市町教育委員会が県教育委員会からの選定資料を採択連絡協議会へ提供します。これが④になります。

採択連絡協議会は、教育長、校長代表、保護者代表で構成されています。今年度は5月15日に第1回会議を開催し、採択案を作成するために、校長や教員等から構成される教科書研究委員会に研究依頼をしました。これが⑤です。

教科書研究委員会においては、6月に4日間の調査・研究を行いました。その際、3市3町の中学校から寄せられた教科書調査研究報告も参考にしながら専門的研究を加え、採択案を採択連絡協議会に報告しました。この報告を受け、7月4日の第2回採択連絡協議会では、各教科書センターに寄せられた市民からの意見も参考に1社を決定する採択案を作成しました。これが、⑥⑦です。

続いて⑧⑨⑩の関係について説明いたします。採択連絡協議会は、作成した採択案を採択

権者である市町教育委員会に、本採択案でよいかどうかを伺う建議をします。これが⑧です。この建議を受け、市町教育委員会は、それぞれの教育委員会の中において本採択案でよいかどうかの検討を行います。本日の会議がこれにあたります。採択案に同意する場合には、同意書を採択連絡協議会に報告します。これが⑨⑩です。

採択が決定した後、採択結果通知を該当市町立小学校に通知するとともに、県教育委員会に採択結果を報告します。これが⑪⑫です。

それでは、次に、採択連絡協議会から建議を受けました8社の教科書について、簡単に特色を説明いたします。

まず、東京書籍「新しい道徳」です。特色として、いじめと生命尊重に重点が置かれて、それぞれのテーマで3つの教材を組み合わせたものとなっています。教材のページ数が適切で、ワークシートや学期ごとの振り返りシートがあり、生徒が自分の考えの広がりや深まりについて理解したり、教師が指導に活かせるといった特徴があります。

つづきまして、学校図書「輝け未来」です。この特色としましては、名作といわれている作品、人物に焦点を当てた生き方に関する教材で、生徒が考えさせられる教材となっています。いじめ問題に関する教材が各学年5本ずつ入っており、内容も人や社会との関わりに重点を置いた教材となっています。目次には概要ごとのマークや大切なポイントが可視化されて見やすく、何について学ぶかわかりやすくなっています。

教育出版「とびだそう未来へ」です。本教材が30本、補助教材が5本入っていて、地域や学校の実態に合わせた教材となっています。いじめ問題について、3年間をとおしてスパイラルに学習できるような工夫がされています。大きさは、携帯しやすいB5判となっていて、1ページあたりの文字数を抑え、行間も広いため見やすく、文章構成をつかみやすいつくりとなっています。

光村図書出版「きみがいちばんひかるとき」各教材の構成が、内容項目、教材名、教材、最終頁に学びのテーマを配置して、課題や大切なことが何であるかを意識しながら教材と向き合うことができる作りとなっています。話し合い活動や多面的多角的な考え方が促されう様な工夫がされています。各教材を4ページ程度にすることで、生徒が内容を理解するのに適切な量となっています。色彩、文字の大きさ、写真等はユニバーサルデザインを意識した作りとなっています。

日本文教出版「あすを生きる」です。学ぶべきテーマとして、いじめと向き合う、安全に生きる、環境、伝統文化、国際理解があり、全体のバランスがよい。各学年200ページ弱なので、1時間の内容は6ページ以内となり、50分間の扱いとしては適量である。別冊の道徳ノートには自分と友達の意見を書くスペースがあって、他者理解につながる。

次に、学研「明日への扉」です。この教科書は教材との出会いを大切にしており、本文より前に主題を表示していない。そのために、特定の価値を押し付けることなく、生徒自ら問題意識を持ち、主体的・対話的な授業が展開できる。命の教育が全学年の重点テーマとなっており、生命の尊さを多面的・多角的にかんがえることができるようになっている。また、A4判サイズで写真や文字のサイズが大きいので見やすい紙面構成になっています。

廣済堂あかつき「自分を見つめる 自分を考える 自分をのばす」です。先人、スポーツ選手、著名人等の実話が多く、人物の生き方を通して裏側にある苦悩や努力、経験などに触れ、自分の生き方について考えを深めることができる。各教材の週末に学習の手がかりとな

る、考える・話し合うが設けられているため、論点をしぼりながら協働的に考えを深めることができる。教科書がA B判のワイドサイズとなっているため、ゆとりがあり、生徒にとって見やすく読みやすい作りとなっています。

日本教科書「生き方からまなぶ 生き方を見つめる 生き方を創造する」です。こちらは、人としての生き方を深く考えられる教科書になっています。学年の発達段階を意識した内容となっています。いじめや情報モラル等の教材があり、現代的な諸問題の解決に向けて生徒が真剣に考え、議論ができる。先人の生き方から、自己の生き方に活かせる教材も充実しています。分量が適切であり、挿絵や写真がバランスよくレイアウトされているため読みやすくなっています。

この中で採択連絡協議会が議論をし、会の中では学校図書の「輝け未来」、東京書籍「新しい道徳」、こちらの2つにしぼられ、最終的に東京書籍「新しい道徳」となりました。採択理由としまして、いじめと生命尊重に重点が置かれ、それぞれのテーマで3つの教材を組み合わせたユニットが作られている。3時間かけて、テーマに対してじっくりと思考を深めることができるように工夫されている。情報モラルや防災、国際理解等の現在的な課題について議論することのできる教材が用意されている。特に中学生にとって身近なSNSに関わる教材は各学年で扱われており、繰り返し課題に向き合うことができるようになっている。生徒が道徳的なテーマについて考えを深めていく際の手がかりとなる設問として「考えてみよう」がある。教材のねらいにせまる設問に加え、自己を見つめる発問が設定されている。こういった理由で、採択連絡協議会により東京書籍の「新しい道徳」となりました。以上で説明を終わります。ご審議、議決賜りますようお願い申し上げます。

教育長

本案について説明がなされましたが、質疑を求めます。ご質問はございますが。特になければ、8社のポイントの説明がありましたが、事前にお渡ししました資料を意識しながら聞いていただければと思いました。最終的に候補となったものと、比較していただいて、実際に判型の違いがあったり、ノートがあったりと違いがありますので、お時間いただきまして、こちらの8社の教科書を見ていただきたいと思えます。

教育長

現物を見ていただいて、各社教科書のポイントを確認していただきましたが、あらためて質問がありましたらお願いします。

(異議なし)

教育長

ご異議がないようですので、御教議第26号「平成31年度使用の小学校教科用図書及び平成31年～32年度使用の中学校教科用図書の採択について」を原案どおり承認することに決しました。

御教議第 27 号 平成 30 年度就学援助について

教育長

続いて、御教議第 27 号「平成 30 年度就学援助について」を議題といたします。本案については秘密会といたしますので、関係者以外は退席願います。

(秘密会)

教育長

それでは内容説明をお願いします。

教育総務課長

ただいま議題となりました、御教議第 27 号につきまして、内容説明をいたします。

(内容説明)

教育総務課副参事

それでは、具体的な内容につきましてご説明申し上げます。

(内容説明)

以上で内容説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

教育長

ただいま、御教議第 27 号について内容説明がなされましたが、本案について質疑を求めます。

(質疑)

教育長

それでは他に質疑も無いようですので、本案を一部修正して承認することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

ご異議がないようですので、御教議第 27 号「平成 30 年度就学援助について」を一部修正して承認することに決しました。

その他・閉会

教育長

それでは、秘密会を解いて会議を続行いたします。教育委員の皆様から一言ずついただきましたと思います。

各委員より

・毎日暑い日が続きますが、愛知県の小学校1年生が校外学習で熱中症で死亡したという大変ショッキングでした。これから夏休み、中体連もあるので、大変気になります。昨年夏休みを短くするという事で話題になったことがありました。これから子ども達の生活の場が学校から家庭に移るなかで、安心して、日頃できない体験や交流を行って充実した夏休みを過ごしていただきたいと思っています。特に両親が働いているお子さんが、学童に通っているお子さんはよいのですが、パートなどで親が日中いないなかで過ごすお子さんもいると聞いています。地域のなかで、子ども条例行動計画が活きて働くように、できることを見守っていきたいと思います。

・西日本豪雨で多くの方が犠牲になっている報道等を見て、子ども達も自分に何ができるのだろうと話す機会となりました。中学生の子どもがいるのですが、通学路の危険箇所に関するアンケートがありました。どのように活用されるか分かりませんが、集められてこの情報が有効にシェアされればと思います。年長の子がいるのですが、保護者の間でも来年の小学校入学に関しての話題が多くなってきました。そのなかでも登下校に関して不安がある方が多いと感じました。地元の方でない方は、どこが通学路で危険な箇所か分からないことが多いので、子ども目線で情報を共有できればと思います。

・阪神淡路大震災後に転倒危険物、落下危険物の調査を御殿場市でも行いました。転倒はブロック塀などがメインでの調査でした。落下危険物は、例えば10メートルの建物からタイル等が剥離して落下してきたら大変な事故になります。高架水槽などの受水槽も屋上にあります。広告の看板などもあります。通学路についても、ブロック塀や落下物の調査を行ったと記憶しています。御殿場市の場合は冬が寒くて凍るので、タイルなども剥離しやすくなっています。高い建築物についても落下物を気にする必要があります。

・自然災害に起因する被害が全国的に多く発生しています。当市では適切にブロック塀の点検、改修が行われたと聞いています。暑い日も続いていますし、不審者の情報も多く目にします。命の尊さを感じて生活をしているわけですが、回覧板の中に小学校の学校だよりがあります。学校開放の情報がありましたので、学校訪問をさせていただきました。警察、地域の方を呼んで不審者対応訓練を行っていました。市内の全学校で行われているようですが、自分の命を守る具体的な行動の反復訓練は大変重要であると感じました。

・中学校の吹奏楽部の指導という事で学校へ行きました。この暑い中でエアコンが効いているかなと思いましたが、やはりエアコンはありませんでした。窓を開放して行っていまし

たが、温度は高く湿度も高い中で汗をかきながら、練習風景を見ていました。風通しが悪い日で、湿度が高くなったらどうなるか。他の地域に比べれば御殿場は涼しいと言われるが、他の地域とはどこか、慣れていない頃が危ないという事を忘れずに意識したいです。

等の発言

教育長

教室のエアコンは大変大きな課題と認識しております。今朝出勤した際には、8時の段階で教育長室の温度計は30度を超えていました。学校の教室は相当であろうと思います。学校教育課に指示をして、各学校の教室・運動場・体育館について、子どもが学校にいる時間についての気温と湿度の記録をとるように指示しました。毎日30℃を超えるものですから、御殿場はもう高原地とはいえません。現状では子どもだけは根性論で暑さに耐えてがんばれと言っているだけです。これでは通用しません。教育委員会としても、子どもの学習環境づくりをどういうように持っていくかという姿勢にもなるものですから、ぜひ応援いただいて、財政的には厳しい問題もあるかと思いますが、なんとかそちらに持っていく力をためる為にもやっていかなくてはと思います。

それでは他に無いようですので、以上をもちまして御殿場市教育委員会7月定例会を閉会といたします。

午後 2時50分閉会

会議録署名人

上記のとおり相違ないことを証明するため署名する。

4番委員

5番委員
